

改憲は未来を左右する

—「国のウソ」を見抜き抵抗を—



“大量破壊兵器を持っている” といっちはじめたブッシュのイラク戦争。そのウソが暴かれ、自認したにもかかわらずいまなおイラクの人々を殺しつづけている。

日本国憲法は“時代遅れだ” “おしつげだ” という国のお偉方は、やれ「国際貢献」だ、「国際協調」だ、と声高に叫んでいる。このような美名の裏側になにを隠しているのだろうか。改憲は私たちの未来をどう変えてしまうのか。

いま時代は、国が言う<口実>とその<本来の目的>を見抜き、抵抗することを私たちに問うていないか。

「騙しの専門家」安齋育郎さんに大いに語っていただきます。

安齋育郎(あんざい・いくろう)さん

立命館大学国際平和ミュージアム館長

1940年東京に生まれる。東京大学工学部原子力工学科を卒業。工学博士。

1986年立命館大学経済学部教授 1988年同国際関係学部教授 現在に至る。

著書 『だます心 だまされる心』岩波書店 『人はなぜだまされるのか』朝日新聞社 『語り伝えるヒロシマ・ナガサキ』全5巻・新日本出版社 『イラク後のアメリカの世界戦略と平和』かもがわ出版 ほか多数

日時 2008年1月26日(土)

13:30～16:30

場所 名古屋YWCA ビッグスペース

(地下鉄「栄」5番出入口 錦通り東へ徒歩3分)

参加費 500円 (学生無料)

共催 第9条の会なごや

愛知大学九条の会

協力 名古屋YWCA

連絡先

第9条の会なごや

名古屋市守山区弁天が丘 大森台2-105 (川合方)

TEL/FAX 052-798-2789 携帯 090-9171-6038

愛知大学九条の会 jimukyoku@aidai9jo.sakura.ne.jp <http://aidai9jo.sakura.ne.jp/>

安齋育郎さん講演会

会場のご案内

